

2021年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/2

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第1問 (1)～(10)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 調査では、被験者が 内省 したことを報告してもらった。
- (2) 実施に当たり周囲への 波及 効果についても 考慮する必要がある。
- (3) 次章において AとBの相違について 詳細 に分析する。
- (4) この研究では、学習者の母語に 焦点 を当てて分析していく。
- (5) この点については 断片的 な情報しかなかった。
- (6) その行動を 遂行 することが 課題の目的である。
- (7) 意味論も 言語学の 一つの 分野 である。
- (8) あからさまに否定された場合、自尊意識を 損なう 原因になる。
- (9) この調査では、実験群と 統制群 の二つのグループに分けた。
- (10) 各学習者の 作動 記憶の能力の差を調べた。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 実情に合わせた理論の こうちく が求められている。
- (12) アンケート結果の きじゅつ に不備がないか確認する。
- (13) まず、研究テーマについての問題 ていき がなされた
- (14) この結果から Aが結果に深くかかわっていることが しさ された。
- (15) 現在の状況からは調査実施に困難が伴うことが すいさつ される。
- (16) 得られた結果から その へいきんち を出した。
- (17) この論文で いんよう した文献は、これですべてである。
- (18) 実施にあたっては、時間的 せいやく があることを確認した。
- (19) 結論を急がず、判断を りゅうほ することを勧めた。
- (20) この研究結果により 言語能力の向上に きよ することができる。

第3問 次の文の下線 (21)～(25) に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

- ・このグラフは、学習者数の (21) _____ をまとめたものである。これにより、ここ30年の学習者の変化を (22) _____ 化 することができた。
- ・調査結果に基づいて AとBについて 文化間の相違や (23) _____ 性 について検証を行う。また、統計的な (24) _____ を行い、(25) _____ があるかどうかについても検証する。

A.処理 B.有意性 C.推移 D.類似 E.可視

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んで下の問いに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

- (1) 下線部A「浦安はつらつ体操」が「Urayasu, TSURATSU exercise (浦安つらつ体操)」になったり とあるが、なぜ「はつらつ」が「TSURATSU」になってしまうのか、原因をわかりやすく説明しなさい。
- (2) 下線部B原文の意味を取り違えている とあるが、どのように意味を取り違えているのか、わかりやすく説明しなさい。
- (3) 空欄

C

 に入る一語を記しなさい。
- (4) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内で述べなさい。